2018 年 12 月 20 日発行

Keio University

東村山三田会 Vol. 9

発行人：紿田俊哉　編集人：東村山三田会会報編集委員会

会長挨拶

紿田　俊哉

今年も早、師走を迎えましたが、東村山三田会の会員、ご家族の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのことを祈念致しております。

本年、4 月 15 日開催の第 4 回定期総会で、新会長以下新役員の新たな体制による当会活動が開始し、早いもので 6 か月が経過しました。

この間、毎月開催の定例役員会を通じ 2018 年度の事業計画を踏まえてその具体化に取り組んできております。

具体的には、定期的に開催しております各種同好会活動、6 月に会報 8 号の発刊、7 月、11 月に誕生会の開催、5 月西東京三田会総会、6 月所沢三田会総会、11 月東村山稲門会総会への出席です。他方、7 月に企画した会員のご家族を含めてのブルーベリー摘みと会食の企画は、残念ながら雨天のため中止となりましたが、来年再度開催すべく考えております。

10 月 28 日には当会が 3 年前より協賛しております DUO の会のコンサートを役員各位の絶大な協力を得て開催。今年はほぼ満席の中、私もヴァイオリン演奏で参加させて頂き、他演奏者の皆様、当会役員の皆様と共に地域への貢献も果たすことが出来、DUO の会の演奏者はもとより、ご来場の皆様にも大変喜んで頂けました。

11 月には、日吉台地下壕見学に 12 名が参加、又、12 月 23 日には、会員のご家族も含めて幅広く参加頂き、大いにお楽しみ頂ける、忘年会ならぬクリスマスパーティーを開催の予定です。

企画の詳細は当日のお楽しみですが、2 つの楽しい余興に加え、沢山の景品の当たるビンゴゲーム、美味しい会食など、盛沢山の内容で煮詰めておりますので、どうぞふるってご参加下さい。

私の会長就任のごあいさつの際に申し上げましたが、当会の目指すものは二つ。「ご家族を含めて会員相互が当会企画の各種行事の楽しさを十分共有できる事」及び、「地域への貢献ができる事」にあります。

役員一同、引き続きその実現に向かって努力をしてまいりますので会員の皆様におかれましても、どうぞ、これまで以上に当会との強い絆造りと維持へのご配慮とご協力をお願いする次第です。

最後になりますが、卒業 50 年を迎えた我々1968 年(昭和 43 年)卒業組を、今年 4 月 2 日の入学式に塾がご招待、又、10 月 21 日開催の連合三田会にも再度ご招待下さり私も参加してまいりました。

いずれの時も 73 歳前後の同期生が多数集まり、50 年前同じクラスで学び遊んだ仲間との交流も含めて終日楽しく、中身の濃い懐かしい一時を楽しく過ごすことが出来ました。「塾歌」、「若き血」を何千人もの仲間たちと歌った時は、塾出身ならではの充実感や緊張感を心から体感するとととともに、改めて母校の OB・OG に対するかかるご配慮に感謝した次第です。

それでは皆さま、新たな素晴らしい 2019 年を、ご家族とご一緒にどうぞお元気に迎えられますよう役員一同とともにお祈り申し上げます。

日吉台地下壕・戦争遺跡を歩く

熊谷　正美

秋も深まった 11 月 24 日、平均年齢 67 歳の東村山三田会会員 12 名で、日吉台地下壕見学会に参加致しました。当日は穏やかな日差しで、歩き廻るには絶好な条件でした。

アクセスの発達による便利さは大変なもので、所沢から日吉までほぼ乗り換えなしの 1 時間程で着くようになりました。学生時代に武蔵関から 2 回の乗り換えで 1 時間半ほど掛かっていたことを考えると、便利さに感心してしまいます。今なら朝一の必須外国語に出席が楽だろうなと思ったり致します。（代返が半分位あった事を棚に上げていますが）

日吉駅に着き、先ず保存の会のかたより来往舎で説明を 20 分ほど受けいよいよ出発です。見学時間が 2 時間強掛かることから、トイレを済ませないと老体には可成り厳しく、全員で準備です。現在建て直し中の日吉記念館横の第一校舎（現在高校校舎）で地下壕建設の経緯を拝聴し、いよいよ高校グランド裏のまむし谷に向かいます。

1943 年、日吉キャンパスからも多くの学生が軍隊に入り戦地に「出征」して行き、日吉の 3 つの町は学生が出て行って数か月も経たないうちに海軍の軍人、軍の施設を作る作業員が入り、さながら軍都の様相だったと記されております。

まむし谷を下り、体育館を過ぎるとアーチ型をした出入り口に着きます。入口を入ると一気に 40 メーターほど下って行きます。

地下の連合艦隊司令部では、レイテ沖海戦や神風特別攻撃隊の出撃など、太平洋に広がる海軍の戦地に作戦命令を下しました。

1945 年 4 月に米軍が沖縄本島に上陸すると、戦艦大和をはじめ 10 隻の軍艦による水上特攻の出撃命令もこの作戦室できめられ、特攻隊や戦艦大和が傾いて行く様子もリアルタイムで把握されていたようです。

太平洋戦争では 320 万人の犠牲者の内、終戦までの 1 年間で 100 万人もの尊い命が奪われたとあり、何ともやりきれない思いが致します。

日吉台の 2600 メートルに及ぶ巨大地下壕は、戦争末期に米軍による本土空襲を予測した軍部に依り建設されたもので、もっと早く終結できなかったのか。民間人を巻き込んだ無謀で無駄な抵抗をした感が致します。戦争遺跡

を歩いて見て、規模の大きさと堅牢さに驚くと共に、戦争の負の遺産として残すべきであり、今でも世界各地で紛争している事の無意味さを痛感させられる意義ある１日でした。

なお、地下壕見学は月２回行っており、個人でも参加できます。

興味のある方は「日吉台地下壕保存の会」にご連絡ください。

http://hiyoshidai-chikagou.net

「第７回デュオの会コンサート」が開催されました　　斉藤 忠義

10 月 28 日、富士見公民館ホールにて開催されました。

当会が協賛して３年目、今回は何としても満席にしたいという思いで、前年 800 枚だったチラシを 1,800 枚に増やし、掲示用ポスターも印刷とし、公共施設のほか、八坂近辺に貼ったり、近隣住居にチラシを投函しました。

富士見公民館に置いたチラシは、毎週 50 枚ほど捌けており、期待感が高まりました。

ところが、当日の 20 分前では観客はパラパラ、期待は不安となりましたが、10 分前になると通路が一杯になり、入場を開始すると席はすぐに埋まり、立ち見客がでる状態となりました。

今年は、「ハロウインコンサート」と題して、それに沿った曲目が演奏されました。

紿田会長もハロウイン衣装でヴァイオリン演奏を行い、会場を沸かせました。

レ・フレールの「On y va!」の演奏に会場が手拍子で合わせて楽しんだり、「まっかな秋」を全員で合唱したりして楽しいひと時を過ごすことができました。

昨年と同様にフィナーレで、お子様８名にハロウインの風船を渡しました。抽選にハズレて泣き出す子供がいたようですが、来年は多めに用意したいと思っています。

デュオの会は、「幼いうちからクラシックに馴染んで欲しい」と言う思いで、ピアノ仲間が設立しました。

ところが、毎年赤字続きと聞き、地域貢献の一環として３年前に当三田会が協賛を開始、７回目となる今回、会員の皆様の協力により、チケット販売枚数が増加し、赤字から脱却いたしました。

アンケートでは、年２回程度開催して欲しいとか、もっと広い会場で開催しても良いのではとかの提案がありましたが、今後検討していきたいと思います。

第９・１０回誕生会が開催されました

田中　康之

2015 年 9 月に第 1 回を開催してから年 3 回開催している誕生会が、10 回を数えました。誕生会は三田会の恒例行事として、会員の親睦に大いに貢献しています。

2018 年 7 月開催の第 9 回誕生会、2018 年 11 月開催の第 10 回誕生会について報告いたします。

第 9 回誕生会は 4 月から 7 月生まれの方が対象で、対象の会員 7 名、役員 5 名が参加しました。

第 10 回誕生会は 8 月から 11 月生まれの方が対象で、対象の会員 3 名、役員 7 名が参加しました。また、朝木役員の同級生の加藤さん(H4 経済卒)に飛び入り参加いただきました。

会場はいつもの東村山駅西口の和食「ひら川」で、おいしい食事とお酒を楽しみながらの歓談の場になっています。

一言ご挨拶の中では、7 月に堀川さん（89 歳）にお話しいただいた戦後の慶應義塾の様子が印象深く覚えています。

また、11 月には澤田さん（80 歳）から今年で結婚 50 年だが初孫誕生もありご夫婦の旅行などができそうもないなどのお話をいただきました。

花束贈呈と全員の集合写真を撮り、皆さんご機嫌のうちにお開きとなりました。

三田会の誕生会のために貸切に、かつ、予定時間を超過して楽しい時間を過ごさせていただき、毎回、「ひら川」さんに

は感謝です。誕生会は、総会や忘年会などよりも参加人数の少ない懇親会で、より密度の濃い交流が図られています。とても楽しい会員同士の懇親の場になっていますので、今回参加できなかった方々は、ぜひ次回ご参加ください。

１名ＯＢが飛び入り

同好会通信♪

☆慶美会(スケッチ同好会) ☆　清水　英男（７名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp　TEL　090-2655-9231】

発足以来３ヶ月に１回、年４回の開催ペースで順調に活動を続けています。

皆様がそれぞれ別の会やご自分の創作活動をされているので、丁度良いペースと思っています。

気候の良い季節は野外スケッチ、真夏や真冬は室内スケッチという暗黙のルールによるところもありますが、殆ど全員参加で続いている最大の理由は皆様の絵に対する熱意と三田会の同好会という気楽な雰囲気によるものと思っています。

５月の「小平ふるさと村」スケッチの後、８月 18 日に中央公民館で人物スケッチを実施しました。

モデルは何時もお願いしている知り合いのお嬢さんですが、初回時は大学生でしたが、今年卒業され社会人となり、幾らか容貌や雰囲気も変わっていて、その違いを皆様見事に捉えて描かれていることに感嘆しました。デッサンの初歩は人物画にあるということを改めて教えられました。

11 月３日には「小平ガスミュージアム」で野外スケッチと特別展示されている「江戸から東京の変わりゆく風景展」を鑑賞しました。

直前に諸事情により、２人欠席となりましたが、天候も良く楽しくスケッチもできました。

風景スケッチの原則的技法として、立った位置の目線で風景を切り取って構図を創るというのがありますが、何時も年齢に関係なく全員がそうされているのに敬服しています。

腰痛を理由に折り畳み式の椅子を持参して、立ったり座ったりして描いている私は恥ずかしい思いで拝見しています。

次回は場所が確保出来たら明年１月末に室内スケッチを予定しています。

清水 英男

細川　晃

神野和夫

☆俳句同好会☆　　丸　弘之　（８名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp　TEL　090-1734-7582】

読書嫌いな私。文科系なのに国語がないのが慶應を選んだ大きな理由。三田会俳句の会に入会したのも、たまたま第一回総会後、文学部の女子に誘われたから（学生時代、同好会を選んだのも似たようないきさつだったかも）。俳句なんて、季節や自然の当たり前のことをちまちまとひねくり回して非生産的で何が楽しいのか？　年寄りの暇つぶしだと敬遠していた私。

名前だけ貸すつもりの劣等生からのスタート。投句するつもりはなかったが、せざるを得なくなり、おっかなびっくり句を人様の前で披露することとなった。しかし、一度おだてられたりすると、馬鹿と煙は高いところを目指しだす。

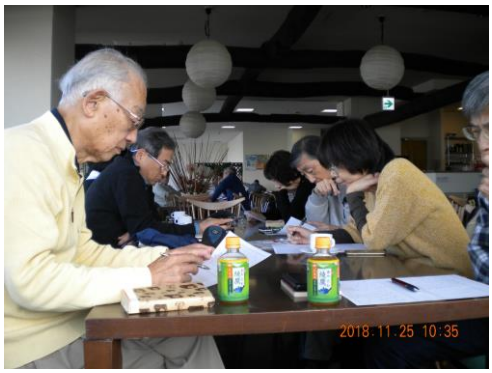
月に一回、皆の都合のよい土日に東村山駅ビル三階のイルソーレに集合。約二時間、三句を出句し、四句を選び、それぞれ互選の理由、よいところ、足りないところなど批評とコメントを加えてゆく。ただし、ＴＢＳのプレバトで辛口先生が斬りまくるイメージとは程遠く、詠み手以上の解釈を広げ、深めてくださるメンバーのコメントが温かい。

最近では、暇になると季節を先取りするかのように歳時記を片手に季語を探している自分がいる。たった十七音で森羅万象をロマン飛行できる俳句に恋をしてしまったようだ。

愛用のシャツ色褪せて残暑かな　　丸女

竿跳ねて真青の空へ鯉飛ぶ　　凡水

青柿のころんと道へ昼日中　　蓑
夕凪の路地気怠げな金魚売り　　栗丸
桃の香やきらひな人に会ひにゆく　　かえる
七つの子鐘鳴り秋の星ひとつ　　弦六
赤子には赤子の愁ひ青みかん　　洋子
埋めたるもの誘ひ出す夜の桃　　岳徒



☆あるいて三田会東村山☆　　桂　かよ子（１５名）

【世話役　鈴木　実（S49 年卒）　連絡先　minoru_s@1975.jukuin.keio.ac.jp　TEL　090-6539-8336】

11 月 27 日、移転して間もない東京都の中央卸売市場、豊洲市場見学にでかけました。

一度は行ってみたいと思う人は多いでしょう。

ゆりかもめ新橋駅西口に 10 時半集合し、ゆりかもめに乗車しました。お台場、有明を過ぎ 27 分で豊洲市場前駅に着き下車。連絡通路を歩くと水産仲卸売場棟です。ここは街の魚やさん、すし屋さんが仕入れに来るところです。

ランチのため、飲食店をまずチェック。11 時過ぎだというのに人気の「鮨処寿司大」は長い列ができていました。

飲食店は少なくお値段は高めです。

見学ギャラリーへむかうと階下の卸売場が見えますが、すでに閉店している店が多くなんとも拍子抜けの感じでした。

「会員の田崎さんが来ておられたら、もう少し見学できただろう残念……」との声が聞かれました。

その後、物販店をみて廻りました。包丁，辛い物の店、昆布、鰹節専門店など市場ならではです。

そして、屋上にある芝生の緑化広場へ出ました。この日はぽかぽか暖かな日で、海の向こうに多数の高層、ビルが立ち並び東京タワー、レインボーブリッジ、建築中のオリンピック選手村などが眺められさながら未来都市東京といった印象でした。

次に行ったのは水産卸売市場棟です。ここは早朝，2 階の見学者通路から、マグロのセリが見られる場所で、威勢のいいセリが見られたら市場に来た実感がわくと思います。

すでに午後 1 時半を過ぎ、バスで築地 6 丁目へ移動しました。場外の海鮮料理のお店でリーズナブルな海鮮丼を注文し一息入れました。

ここまでの歩行数は 6000 から 12,000 歩とまちまちで(家から駅までの距離の違いによります)歩数はあまり稼げていませんでした。食後 15 時すぎの閑散とした築地場外市場を通り抜け本願寺を過ぎ地下鉄築地駅から帰途につきました。今回の参加者は 6 名でいつもよりも少なかったです。

☆ボウリング同好会☆　　相川　孝訓（１５名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp　TEL　090-6540-3927】

ボーリング同好会へ途中から入ったメンバーの感想です。

ボーリングは毎月 1 回月曜日に定例会が行われています。

ボーリングが流行っていた頃に楽しんでいたことを思い出してゲームに参加したくなり試しに参加してみました。肩や膝に不安を抱えていたのでボールをうまく投げられるか心配でしたが、問題なく投げることができました。ただ、昔出したことがあるような点数は今のところ出ていません。

100 点前後の低空飛行をしています。早く点数を競えるようになりたいと毎回参加している今日この頃です。

ボーリングは基本的に 2 ゲームを行います。運動量としては丁度良い量です。靴は始めは貸し靴を借りていましたが皆さんにネットで安く手に入れられると助言され、安く購入してしまいました。

ボーリングの前には皆で食事をします。おかげで久米川のいろいろなお店を知ることができました。

通常は 11 時 30 分から久米川近辺で食事と歓談をします。和気あいあいとして楽しく食事が進みます。

食事後に久米川ボールでボーリングが開始されますが、皆真剣に勝負にのぞみます。スペアやストライクがなかなか出ない上にやっと出たと思ったら次はガーターになったりしてなかなか点数が伸びません。

当面は 100 点超えを目指して頑張りたいと思います。

ボーリング同好会ができた当初から入らなかった一つの理由は皆さんのお名前が分からなかったからです。私は途中から参加させていただきましたが、今では楽しんで参加させていただいています。

皆さん、ボーリングを楽しみませんか。私と点数を競える方の入会をお待ちしています。

193 点　最高記録です。（田中）

天喜（田﨑さんの店）ご来店お待ちしております

☆麻雀同好会☆　神尾　常夫（１６名）

【世話役　田中康之（Ｓ５２年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp　TEL　080-6528-0202】

この度、麻雀同好会の紹介をさせていただくことになった神尾です。

私自身は、本同好会には前世話役の河邊さんから声を掛けていただき参加して、早３年ほどが過ぎようとしています。

本同好会の月例定例会は世話役の田中さんの工夫で、最大多数のメンバーが参加できるように絶妙に調整され、久米川駅南口から徒歩２、３分のところにある雀荘で日曜日の午後に行われることが多くなっています。

一般的に、麻雀といえば退廃的なイメージがあるかと想像しますが、我々が集う雀荘は健康的で小奇麗な場所で、和気藹々あるいは真剣にゲームを楽しむことができますし、頭脳の活性化にも繋がると思っています。

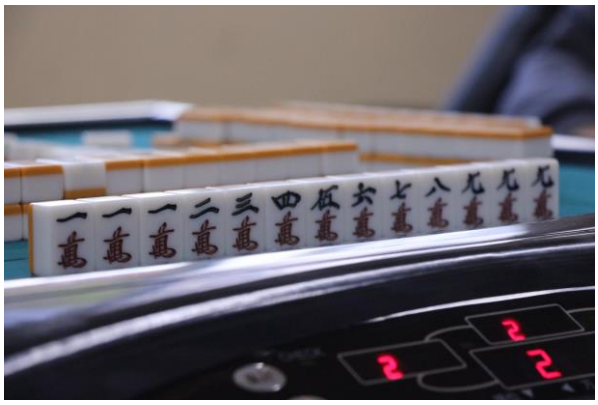
成績についてはその時の運不運と各自の腕前次第ということですが、やはり、上位の顔ぶれは固定的（お名前を列挙するのは控えます）になりがちなのも事実です。やはり、私は最年少のメンバーであるにも拘らず、最近はメンバーの皆様の勢いに抗することができず、長期低迷期に入ったようで苦笑気味です。せめて、年に一度の麻雀慶早戦のメンバーに入ることが出来るよう頑張らなくては、と念じています。

最後になりますが、現状、２卓（８人）で行うのが常態化していますが、３卓（12 人）で開催できるように本同好会が発展できればと祈念しています。

興味のある方は、是非、世話役の田中さんにご連絡下さい。

（最近の優勝者）

開催月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月
優勝者	清水	斉藤	生田	田中	熊谷	田中



☆ゴルフ同好会☆　　内田　光郷　（１４名）

【世話役　阿蘇　秀男（S49 年卒）　　連絡先　nadeshiko.aso.1710@jcom.home.ne.jp】

第７回コンペ開催（10 月 26 日　於：立川国際 CC）

前回（5 月 29 日開催）に引き続き立川国際 CC（奥多摩コース）にて、参加者 9 名で開催。

三田会コンペの成績は、最年長の廣田さんが 2 連覇中で、今回は 3 連覇がかかっていましたが、ハンディキャップに恵まれた飯塚さんに軍配が上がりました。

初参加の市川さん、このコースでグロス 86 は立派です。H28 年 10 月に西武園 G.C で 85 で回った丸さん以来の好スコアでした。

今一つ特筆（？）すべき記録はホームコースである内田が、H29 年 10 月、H30 年 5 月、H30 年 10 月と B.B 賞を獲得（4 回のうち 3 回）。気を遣っているのですねとは誰も言ってくれませんでした。

プレー後は、お茶と軽食をとり、しばしプレー談議に花が咲き、各自が持ち寄った賞品（千円程度）を成績順に好きな品を頂きながら、次回は来年 5 月の開催を約して解散しました。

＜上位 3 位の成績＞

順 位	氏　名	グロス	ＨＤＣＰ	ネット	ニアピン
優　勝	飯塚武彦（S42）	105	30	75	市川栄二　（OUT2 番/155y） 神尾常夫　（OUT8 番/135ｙ） 小駒基一郎（IN15 番/161ｙ） 武田和夫　（IN17 番/201ｙ）
2 位	市川栄二（S45）	86	10.8	75.2	
3 位	小駒基一郎（S50）	96	20.4	75.6	
3 位	丸　弘之（S56）	96	20.4	75.6	

☆カラオケ同好会☆　斉藤　忠義　（１８名）

【世話役　斉藤 忠義（Ｓ44 年卒）　連絡先　yasaka_kumegawa@yahoo.co.jp　TEL 090-7005-9959】

11 月より、世話役が加藤さんから私に交代いたしました。

世話役が多忙であったため、暫し中断していましたが 11 月に再開しました。ほぼ全員が他の同好会会員でもあるため、当面は、隔月で開催することにしました。

隔月とすれば、歌いたくなるようで確実に 8 人位は集まることがわかってきました。

会場は東村山駅近くの「ビッグエコー」、月曜日の午後 6 時から 9 時までの 3 時間、コース料理と飲み放題で 4,000 円（ソフトドリンク 3,000 円）とし、雑談を交わしながら歌って飲

んでいただきます。

現役の方は、7時過ぎにでも参加して頂ければと思います。

定例開催以外で、カラオケのみ楽しみたい会員のために、希望者を募って久米川の「ＢａｎＢａｎ」で平日の日中に開催することも考えています。

年１回、東村山稲門会のカラオケ同好会と懇親会を兼ねて早慶カラオケ会を行っています。

すでに４年を経過しておりますので、各人の持ち歌とか好みもわかってきていますが、新たな曲に挑戦している会員も多く、レパートリーが広がっており、飽きはありません。

参加するほどに気楽になり、練習モードでも恥ずかしくなく歌えますので、近頃参加されていない方、やってみようかと思う方、是非参加して見てください。お待ちしています。

☆食べあるくかい？(グルメの会)☆　　櫻井　正廣（２０名）

【世話役　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com　TEL　090-1767-1617】

夏が暑く、台風に見舞われたこともあり、今回は開催することが出来ませんでした。

いわゆるグルメの会を標榜していますので、料理や雰囲気にある程度のクオリティを求めると共に、10～15 名が一堂に会せるスペースがあることを基準にしており、相応しい場所がなかなか見つかりません。

近々、中華か和食でと考えていますが、既に開催した処に戻るとか、市内に拘らず近隣の街に進出するとか色々と思案中です。

上述の様に場所選びに苦慮していますので、皆様が行ったことがあるお店で、これはという処がありましたら、ぜひ、ご紹介して頂きたくお願い申し上げます。

☆活動を予定している東村山三田会の活動☆

１２月２３日　クリスマス会

４月１４日　三田会総会

☆１２月１日現在の総会員数　８５名

新入会員　大森雄治君（H10 政メ修）、坂本正典君（Ｓ54 商 ）、高橋裕純君（H6 総政）

玉木皓雄君（S31 法）、月出英樹君（Ｓ59 工）

退会会員　坂田　智君、橋本　清君（ご逝去）、神野和夫君、速水博章君

☆ホームページの引っ越しについて☆

現在のホームページは、ヤフーのジオシティーズというサーバーを利用していますが、来年３月をもって終了するとの通知がありました。

引っ越し先の候補を選定中ですが、３月までに引っ越し作業を行います。

今まで通りの検索（「東村山三田会」）でホームページを見ることができる予定ですが、万一、想定外の事象が発生した場合、一時的に見られなく可能性もありますのでご承知ください。

（作業担当　田中　康之）

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール： higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

ホームページ　投稿募集！！

同様に、ホームページ掲載する会員の皆様からの原稿や写真を募集しています。

テーマは「塾」、「東村山」を始め、特に限定は致しませんので、日頃の活動や研究成果の発表、趣味の紹介、旅行記、雑感など、何でも構いません。

ホームページに、「会員からの投稿」のメニューを設けてありますので、会員の皆さんに広くご覧いただくことができます。

字数や写真枚数の制限は会報より大きく、かなり自由な表現が可能です。

投稿される方は、ホームページ担当（田中）までご連絡ください。

メール： vvtanaka@m7.gyao.ne.jp

編集後記

新体制が発足して半年余り、会は順調に活動を続けてまいりました。今年の夏は、気象庁の観測以来初が続出した異常気象のせいで、ブルーベリーを摘む会が中止になり残念でしたが、地下壕見学会では懐かしい日吉を訪れることができました。また、年末には、家族も参加されるクリスマス会が催されます。同好会も活発に活動しています。今後も皆さんが参加できる楽しい催しを企画していきますのでご期待ください。

編集委員　廣田眞一・佐藤真和・稲葉光亮